

まえがき

東京大学を退官するに当たって、過去の記録を整理することにした。

大学に入学してすぐ硬式野球部に入り、教室で過ごす時間よりも、グラウンドと合宿所である一誠寮で過ごす時間の方が長かったように思う。東京大学工学部卒業というよりは、東大野球部卒業という方がむしろふさわしいような学生生活であった。大学院修士課程に在学中は六大学野球の公式審判員を2年間務め、博士課程進学後の2年間は東大野球部助監督を務めた。大学入学後8年間継続して、東大野球部と直接関わりを持ったのである。助教授時代の監督2年間、教授時代の野球部長4年間を加えると合計14年間にもなる。私の東京大学における人生は、野球部との関わり合いを抜きにしては語れないのである。

1999年3月 岡村 甫